



## 1 学校教育

3月10日、町内の中学2年生が、立志式に臨みました。全員が『私の夢・志』について作文を書き、金子町長、町議会議員のみなさまをはじめ、保護者の方、大勢の地域の方が見守る中、代表の生徒は『夢・志』を堂々と発表しました。「将来は、ふるさと八百津町のために、力を出したい！」との力強い言葉に、会場全体からは大きな拍手が起きていました。

私たちは、『夢・志』をもちたくましく生き抜いていく子ども、地域や社会の発展に貢献する子どもを育成したいと考えています。

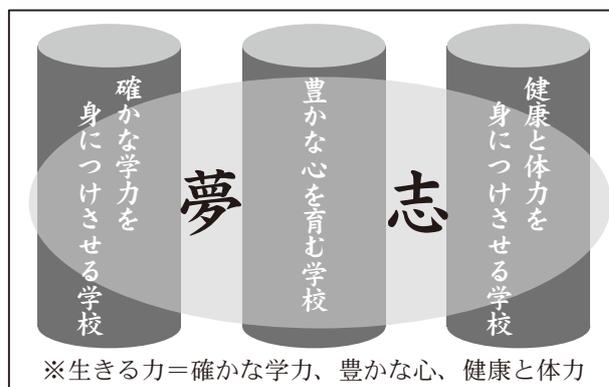
何より、今回、立志式に臨んだ中学2年生のように、町内すべての子どもたちが、将来の『夢・志』をもてるよう育てていかなければならないと考えます。

一人ひとりの子どもは、社会の中で何らかの役割を期待されて生まれてきたかけがえのない存在です。自分自身のためだけでなく、社会の一員としての役割と責任を果たすための『夢・志』をもたせたいと思います。

子どもたちは、『夢・志』をもつことで、主体的に学ぶ意義や、意味を考えるようになります。“将来こうありたい。”ということを明確にすることで、意欲的に『生きる力』を、身に付けようとしています。

また、『生きる力』を身に付けることが、『夢・志』を一層明確にします。

そのために、教職員の資質向上の充実、研修校指定校制度の実施、より多くの「学校支援員」の配置など、きめ細やかな指導の推進に力を入れていきたいと思ひます。



## 2 社会教育

私たちはすべての町民の方に、生きがいのある充実した生活を送っていただくことを願っています。

内閣府が「今後の生活において、心の豊かさと物の豊かさのどちらを重視しますか」などの調査を行いました。その調査によりますと、「心の豊かさに重きを置きたい」とする割合が60パーセント以上ありました。「物質的な面で、生活を豊かにすることに重きを置きたい」の割合を大きく上回っています。

生きがいのある充実した生活の大きな要因は、心の豊かさにあります。

町民の方が、「自ら学ぶことを楽しむこと」「主体的に、歴史、芸術・文化をさまざまな面で取り入れたり、創造すること」「スポーツを楽しむこと」などで、心が豊かになると思ひます。

そのために、『町民1スポーツ・1学習』を推進し、だれもが生涯にわたって、気軽にスポーツ、そして、学習、芸術・文化などに親しめる環境づくりをしていきたいと考えます。

